

小児歯科

当院ではお子さんの年齢や歯科治療の慣れに合わせた診療を行っています。
いきなりの治療ができないようであれば、治療に使う道具を見てもらったり触ったりして慣れてもらい、クリーニングなどをしながら徐々に治療をしていきます。
保護者の方にはいくつかのお願いがあります。

- ① ウソをつかない
公園に行くと言って来院したり、痛みが出る可能性がある治療中に痛くないよと声をかけたりはしないでください。
- ② 歯科にネガティブなイメージにさせない
歯科は痛い、怖いといったイメージを与えないでください。
- ③ 通院は元気な時間帯にする
疲れが出やすい、眠くなりやすい時間帯はさけてください。
- ④ 治療の後はたくさんほめる
頑張っただけで治療ができたときはたくさんほめてあげてください。治療ができなくても怒らずに励ましてあげてください。

フッ素で虫歯予防

歯の生え始めた幼児の歯は、エナメル質が弱いため虫歯になりやすくなっています。フッ素を塗布することで虫歯を予防することができます。

フッ素を塗った方へ

1. フッ素は虫歯を予防する薬です。塗った前後で痛みはありません。
2. フッ素を塗った後は、30分ほど飲んだり食べたりしないでください。
3. フッ素を塗っても絶対に虫歯にならないということではありません。毎日の歯みがきや砂糖を含んだ食べ物を減らすことは心がけてください。

おやつについて



○：そのままおやつとしていいもの。

△：ときどきならいいもの。

×：なるべく控えたいもの。砂糖を使っていないものならOK。

★栄養のバランスを考えてあげてください。

子供の間食は甘いものになりがちです。もともと3度の食事を補うためのものなのに、甘いものの食べ過ぎは食事時の食欲を減退させてしまいます。そのうえ糖分の消化には、多くのビタミンとカルシウムが必要とされます。糖分の取りすぎで栄養のバランスがくずれてしまうわけです。お母さんが間食のバランスをよく考えてあげてください。わるいからといって、全く甘いものをやめてしまうというのは、情操教育の点からも、子供は甘いものが好きという点からも無理があります。糖分の少ないものを、牛乳やお茶といっしょに時間を決めてあげること、これを守るのが大切です。